

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	中原老人福祉センター	評価対象年度	平成22年度
事業者名	・事業者名 (社)川崎市中原区社会福祉協議会 ・代表者名 会長 青木 英光 ・住所 川崎市中原区今井上町34 和田ビル1階	評価者	林 徳厚 課長
指定期間	平成21年4月1日～平成24年3月31日	所管課	健康福祉局長寿社会部 高齢者在宅サービス課

2. 事業実績

利用実績	(1)利用者数 26,137人(個人 25,999人、団体 138人) (2)入浴者数 14,334人(272日) (3)教養講座 871人(10講座、100回) (4)行事 2,267人(8行事、103回) (5)機能回復訓練 454人(24回) ※東日本大震災の影響により、平成23年3月14日～25日は閉館。
収支実績	○委託 56,182,981円 ●決算 55,396,808円 (内訳) ・人件費 27,315,697円 ・事務費 24,498,443円 ・事業費 3,582,668円 ◎収支 786,173円
サービス向上の取組	職員手作りのパターゴルフ場(9ホール)を作り、利用者に屋外での健康増進と交流の場の提供、県立中原養護学校の生徒と当センター利用者が歌、踊り、楽器演奏等を行い、世代間交流や地域交流を深めたことなど、設備や行事等の充実を通じてサービス向上に寄与している。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
適正な業務実施	利用者満足度	利用者ニーズを反映したサービスの提供は行っているか	10	4	8
		利用者の意向の確認及び情報提供は十分に行われたか			
	管理・運営	高齢者の心身への配慮について適正だったか	10	4	8
		地域に根ざした施設として、地域交流は積極的に実施したか			
介護予防に資する取組を実施したか					
(評価の理由) ・利用者の意向確認等については、「御意見箱」の設置やクラブ・教室等の講師や一般利用者の代表と連絡会議を年2回開催し、情報交換等を積極的に行うことで、ニーズを把握し、効果的な施設運営を推進した。 ・高齢者の心身への配慮について、入館時の看護師による積極的な声掛け、定期的な館内巡回による利用者とのコミュニケーションから心身の状況確認を行ったこと、看護職による助言指導からバイタルチェックを自ら率先して受診する習慣を身に付けたことは、疾病予防を推進する上で効果があった。 ・地域に根ざした施設として、県立中原養護学校の生徒と当センター利用者が歌、踊り、楽器演奏等を行い、世代間交流とともに、地域交流を深めることができた。 ・介護予防に資する取組として、閉じこもり、寝たきり、認知症予防を目的に「転倒予防教室」を開催し、利用者から成果が上がった等の意見があり、積極的に取り組んでいる。 ・団塊世代の利用促進について、団塊の世代の人たちに関心の高い、卓球、体操、園芸等の講座を企画、実施した。					
収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	3
		支出に見合う効果は得られているか			
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか			
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	/	/	/
収入増加のための具体的な取組が為されているか					
適切な金銭管理・会計手続	収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	5	3	3	
	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
(評価の理由) ・計画に基づく適正な支出等について、計画に基づき事業実施を行い、震災の影響から中止があるものの、計画通り実施し、講座実施回数、参加者数ともに前年度より増加している。 ・効率的な執行、経費削減について、節水や節電に努め、ゴミの持ち帰りの徹底、施設の軽微な補修・修繕は職員自らが行うなど、経費削減に努めた。 ・適切な金銭管理・会計手続について、指定管理委託料の範囲内において適切に執行している。					
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	3	6
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
	業務改善によるサービス向上	サービス向上のために具体的な取組が行われているか	10	4	8
		業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか			
利用者の意見・要望への対応	業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか	10	3	6	
	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか				
(評価の理由) ・適切なサービスの提供について、市政だより掲載、ポスターの掲示、チラシの配布により周知徹底することで利用促進を図り、計画通り事業実施することにより、適切なサービス提供を図った。 ・業務改善によるサービス向上について、職員手作りのパターゴルフ場(9ホール)を作り、利用者に屋外での健康増進と交流の場の提供、意見箱の設置や利用者代表との意見交換会等により、広く意見や要望、提案等を聴取し、卓球室の配置換えや浴室前等のエアコンの設置など施設設備の改善を行い、適正なセンター運営に反映させた。 ・利用者の意見・要望への対応について、講座終了後にアンケート調査を行い、次回に反映できるよう利用者の意見の把握を行っている。					

組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか			
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか	5	3	3
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	5	4	4
	安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	3	3
		緊急時に警察や消防など関係機関と速やかに連携が図れるよう、連絡体制を構築し、定期的に情報交換等を行っているか			
コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3	
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の管理については職員6人がローテーションで勤務し、健康相談などについては看護師、嘱託医などの専門職を配置するなど、適正な人員配置を図るとともに、所管課との定期的な連絡会を開催するなど連携体制がとれている。 再委託管理について、施設設備の保守管理や清掃、警備等を業務委託し、業務履行の確認を職員の巡回点検とともに、作業報告等によりダブルチェックを行い、適切な施設の維持管理に努めた。 担当者のスキルアップについては、人権問題、メンタルヘルス研修、他都市の高齢者福祉施設への視察研修など、様々な研修に積極的に参加し、職員の資質向上に努めた。 安全・安心への取組については、防火管理者を配置し、防災計画の策定、利用者参加による防災避難訓練の実施、定期的に館内の消火設備等の点検を実施し、安全管理体制の確立に取り組んでいる。 緊急時の対応として、利用者の緊急連絡先の把握、事務所に緊急連絡網の掲示、緊急時の状況の記録、緊急時対応マニュアルを作成し、定期的にマニュアルの内容確認を行うなど、緊急連絡体制の構築に取り組んでいる。 コンプライアンスについては、法人独自の個人情報保護規定に基づき、利用者への同意、保管体制などについて適切な運用に努め、職員会議等でコンプライアンス精神の徹底を指示するなど、適正な運用に努めている。 					
適正な施設管理	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	外構・植栽管理	外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設・設備の保守管理について、利用者の安全を確保するため、補修箇所について迅速に修繕し、施設の維持管理に努めている。 管理記録の整備・保管や警備業務について、入館者の確認と共に定期巡回を実施し、不審者の入館を防止し、また、緊急時の緊急連絡システムを構築し、館の全体管理運営を業務日誌により記録・保管し、施設の安全確保を図っている。 外構・植栽管理について、職員による草刈や委託業者による定期的な伐採等を実施し、庭園等の美観的な維持管理に努めた。 					

4. 総合評価

評価点合計	67	評価ランク	C
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<p>平成22年度においては、指定管理業務を開始して2年目であり、概ね事業計画に沿った管理運営ができており、全体的に安定した管理運営がなされている。老人福祉センターの目的である各種相談の実施、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与することが、概ね達成できていると評価できる。</p> <p>特に、職員手作りのバターゴルフ場(9ホール)を作り、利用者に屋外での健康増進と交流の場を提供することができたこと、県立中原養護学校の生徒と当センター利用者が歌、踊り、楽器演奏等を行い、世代間交流とともに、地域交流を深めることができ、次年度もセンターの主要事業として位置付ける予定など積極的な取組などが評価できる。</p>
--

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

<ul style="list-style-type: none"> 今後とも、高齢者の心身に配慮しながら、一層のサービス向上に努めること。 地域交流の推進や施設の環境・機能の充実に努めること。 利用者のニーズを把握するためのアンケート調査を実施するなどして、さらなるサービス向上に努めること。
--